

平成 27 年度第 3 回あわら市文化財保護委員会会議録

1. 日 時 平成 28 年 1 月 26 日(火曜日) 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
2. 場 所 金津本陣 I K O S S A 3 階・研修室 1
3. 議 題 (1) 市指定文化財の諮問に係る審議について
(2) その他
4. 資 料 金津祭関係資料
5. 出席者 文化財保護委員 吉田純一、由水勇、山田輝男、坂野尚、
有馬行之、藤井さち江、伊戸君枝、
吉村幸夫、関章人
事 務 局 笹井和弥(文化学習課長)、橋本幸久(郷土歴
資料館館長補佐)、笠川正泰(郷土歴史資料
館主事)
6. 会 議

(委員長挨拶)

議題：市指定文化財の諮問に係る審議について

(事務局より金津祭の説明)

【協議】

委員長：申請書の祭りの所在地が金津 25 地区とあるが、18 地区ではないのか？

事務局：新しい地区も含まれている。金津地区区長会の協議により、人手確保等のために 25 行政区に広げたようだ。

委 員：旧金津町では、区長会・商工会が担っていたが、新しい団地・地区がはじかれるので、形式として全区域をいれた形だ。文書が残されていない。過去はそうだったという形だ。

事務局：資料でどこまで時代的に遡れるのか難しい。

委 員：明治期に途絶えて、昭和期に復活させた形だ。連綿と続いたわけではない。

委員長：本陣飾り物も明治期にあったが、途絶えたとある。

事務局：資料的な根拠も不明確な部分がある。

委員長：山車や神輿の価値は？

事務局：山車や神輿はそれほど古いものではない。無形文化財の指定として、祭りそのものでは難しい。本陣などを含めての指定となる。伝統芸能

を含めて価値がある。平成26年2月に保存会が立ち上がっている。保存会会長の思いは祭りを将来に引き継いでいくために市の指定を望んでいる。市の指定で賑わいを催し、街中の空洞化を避ける意味あいもあると思われる。

委員長：山車の人形をつくる人がいないのでは？

事務局：坂井・あわら両市長で協議が行われている。三国5体、金津3体、芦原1体。現在の製作者が、正職に就くために人形製作を止めたがっている。そのため、両市からもっと補助できないかという考えがでた。

委員：昔は各地区で作っていた。現在の製作者は、近年は家業も営んでおらず、人形製作だけでは生計が成り立たないようだ。1体につき、80～100万円はかかるが10基も作らないので採算があわないようだ。とはいえ、胴体が残っている間は製作を続けるようだ。

事務局：正職につきたいとのことで、職員採用の話も検討されたようだが、成立しなかった。助成金の形にもっていく方向のようだ。

委員：グループで作る形にもっていく話もあったが、生業として成り立たない。趣味の範囲だ。時間も人手もいる。

委員長：あわら市として助成も考えていいのかもしれない。他に担ぎ手とかは足りているのか？

委員：神輿は担ぎ手がない。稲荷山、古、旭の三区だけだ。子供の数が少ない。

委員：三国祭も人手が足りなくなっており、大学、青年団等に話を付け、日当を出すなどして数をそろえているようだ。

委員：市指定にむけてとのことだが、三国祭りは指定されているのか？

事務局：県指定になっている。

委員：形態が変わっても指定は続くのか？踊り手の減少や人形も変化している。

委員：北潟のどっしやどっしやは県の無形文化財に指定されている。若い人は少ないが、引き継いでいこうという動きは共有している。ただ、金津祭りは無形文化財としての決め手がないのでは？人形も独自性が無い。神社も変遷している。三国祭は三国神社の祭礼として昔から一つに帰属している。

委員：ちなみに、有形文化財は破損した時でも指定は続くのか？

委員長：建築だと修復の度合いによる。丸岡城は福井震災で倒壊したけれども、古材や資料が残り、元に近い形に修復出来たので指定が続いている。燃えたら解除だ。無形文化財も著しく変容すると解除だろう。将来神輿はなくなってもいいのか危惧がある。

事務局：神輿も構成要素の一つになっている。なくなったら解除もありえる。

委員：市の指定になると補助がでる。期待しているのだろうか？

事務局：観光部局からすでに補助しているので、文化財としての予算要求はまた別の話となる。

委員：金津祭の何を指定するのか？山車か本陣か？私の子供時代は前囃がなかった。子供のころからの祭りの形態と変わっている。最近の飾り物は工作合戦だ。簡単には指定できない。範囲やポイントを抑えなければならぬ。

委員：十日町だと子供が一人しかいない。現在の祭りのあり方は問題がある。

委員長：祭りのあり方として、保存会が守っていく姿勢は評価できる。文化財としてはどうか？地域創生としては大賛成だ。

委員：浦安の舞は数えて12歳。人数は足りているのか？

委員：区ではなく、金津神社の行事（神事）なので人は足りている。

委員長：祭りの定義の話に戻したい。

委員：指定してしまうと定義が変わってくる。

委員長：囃子に関しても毎年違うようだが、特徴の一つとしてとらえることができる。

委員：金津祭以外で指定されているのはありますか？三国祭の他に、勝山左義長などは？指定されているなら、その内容、形態を教えて欲しい。定義があいまいでは意見できない。

委員：何に重点が置かれているか分からないのに指定できない。

事務局：今回、教育委員会の諮問を受け、文化財保護委員会として開いた。継続審議でも構わない。同じような指摘は教育委員会定例会でもあった。

委員：毎年毎年、形態が変わるのに指定できるのか？

委員長：漠然としている。

委員：登録文化財という形にはできないのか？

事務局：現状、本市には市の登録文化財という枠組みはない。

委員長：フォローしていく。守りたいという気持ちをバックアップしたい。

委員：開催日も固定されていない。子供がいないから開催日を海の日にしている。

委員長：イベント化している。文化財として評価していいのかというのが大勢の意見のようだ。

委員：伝承に値するのが含まれているのか。神輿、囃子それほどのものか。新しすぎる。決め手がないのでは？

委員：反対意見ばかりだ。残してやりたいというのが本音だ。

委員：残すのと文化財指定とは別の話だ。

委員長：文化財としてどうなのかという意見だ。

事務局：先ほどの三国祭の件について、三国神社氏子会が管理・運営している。

昭和 58 年に三國神社例大祭「三国祭」として県の無形民俗文化財に指定されている。

委員長：芸能だけでなく、構成もまとめてほしい。指定にしていく判断基準になる。

委員：本陣飾り物とか部分的に指定していけばどうか？全体としては大きすぎる。

委員長：飾り物がある祭りはなかなか無い。その部分は評価したい。

委員長：継続審議としたい。現状では、認められない。

<その他>細呂木関所について（事務局より説明）

事務局：個人の敷地の一部が史跡となっているが、説明板等を動かして欲しいと要望があった。協議で向きを変えるだけに留めてほしいと話したが、説明板に屋根が付いており、やはり邪魔になるので移動して欲しいとのこと。

委員長：史跡は本当にこの場所なのか？

事務局：ここに遺構が残っていたわけではない。指定前から地元で細呂木関所跡の石製の標柱を建てていた。ただ、標柱が設置時から移動していないのか断定できない。関所に関する資料も殆ど残っていない。

委員：おおよその範囲も分からないのか？

事務局：簡素な図はあるが、発掘調査したことはないので分からない。

委員長：調べてから、動かしてはどうか？ハッキリしないと分からない。ここはどうやって決まったのか？

事務局：地元の伝承だと思われる。

委員：場所としては間違いないだろう。左右総延長 60 間ほどあったのだから。説明文はどうなっている？説明文をうまく変えたらどうか？

委員：私有地なら、関所があったところに家ができたのか？

事務局：関所廃止の際、共有地になって、徐々に分割され宅地になったようだ。

委員：地主は移動して欲しいのか？

事務局：4 月に新築するから 3 月中に移動して欲しいとのこと。湖東会館の南側の道路付近が代替案のようだ。地元の意向もあるので、詳細は現地で確認したい。

委員長：移動は認められない。関所跡が不確定なのに、移してここが関所跡と

いうのでは嘘になる。説明板を外せというなら、外してもいいが、保管しておけばいい。

事務局：指定のまま撤去する形としたい。ただ、上に瓦が載っているので自力による移動は難しい。

委員：関所跡は明治の字切図には載っているはずでは？

委員長：湖東会館付近が空いているからと移動するのはおかしい。

事務局：現状変更の事務手続きを取り、撤去費用をどうするか検討します。

委員：細呂木の地籍図は残っているのか？

委員：合同庁舎に登記図はある。区でも持っているだろう。

<その他>多賀谷左近石廟について（事務局より説明）

委員：骨組みがステンレスだが耐久性は？

委員長：当初は鉄だったが、錆びるのでステンレスに変更した。耐久性は分からないが、錆びないことは確かだ。

委員：笏谷石に代わる石はないのか？

事務局：凝灰岩系の石なら代用できる。

委員長：姫路に類似した石があり、露天掘りで豊富にある。福井城の山里口御門も同様な物を使っている。石川県にもよく似た石はあるが、姫路から輸送した方が安い。

委員：五輪塔の後ろの文字も劣化して読めなくなっている。

事務局：墓塔全体の劣化が進んでおり、移動に伴い解体すること自体が怖い。コーティングなどで強化せずに外す場合、壊れる恐れがある。石廟を復元する際、五輪塔と宝篋印塔の移動についても考えたい。

委員長：復元だけじゃなく、墓所の整備にもなる。しっかりやってほしい。

委員：新しい市の観光資源になる。

(11:30 閉会)